

## 4. 景観

### 4.1 景観の課題と原因

信濃川中流域では、減水により、大河川信濃川の風景が損なわれているのではないかと。  
また、現在実施している試験放流は、この影響を緩和する効果があるのか。

西大滝ダム減水区間及び宮中ダム減水区間においては、アンケート及びヒアリングにより減水のため景観の変化が生じている等の意見が得られ、また、減水区間において瀬切れが生じていることが確認された。

試験放流後には水面幅が増加し、景観に対する効果が見られた。

#### 4.1.1 景観の課題

表 4.1-1に、地域住民等へのアンケート及び協議会委員、関係団体等へのヒアリングにより得られた景観に関する意見を示す。

その結果、減水によって川の景観が変化し、大河信濃川としての風景が損なわれている、観光資源として魅力がない、河原砂漠化現象が生じている等の指摘があった。

表 4.1-1 景観に関する意見

回答の内容	アンケート	ヒアリング	合計
景観	15	8	23
・大河川信濃川の風景が損なわれている。 ・減水区間は水がなく殺風景だ。 ・観光資源としての魅力がない。 ・河川砂漠化減少が生じている。 ・流量を増やし、川舟を復活させて美しい景観を取り戻したい。 等			

図 4.1-1に減水区間の景観を、図 4.1-2に非減水区間の景観を示す。減水区間では瀬切れが生じている。



西大滝ダム



宮中ダム



妻有大橋上流

図 4.1-1 減水区間の状況 (平成 11 年 8 月 10 日)



湯滝橋(西大滝ダム上流)



旭橋(小千谷発電所下流)

図 4.1-2 非減水区間の状況 (平成 11 年 8 月 10 日)

#### 4.1.2 景観悪化の原因

図 4.1-4に試験放流前と試験放流後における景観を示す。試験放流後には水面幅が増加し景観に対する効果が見られた。

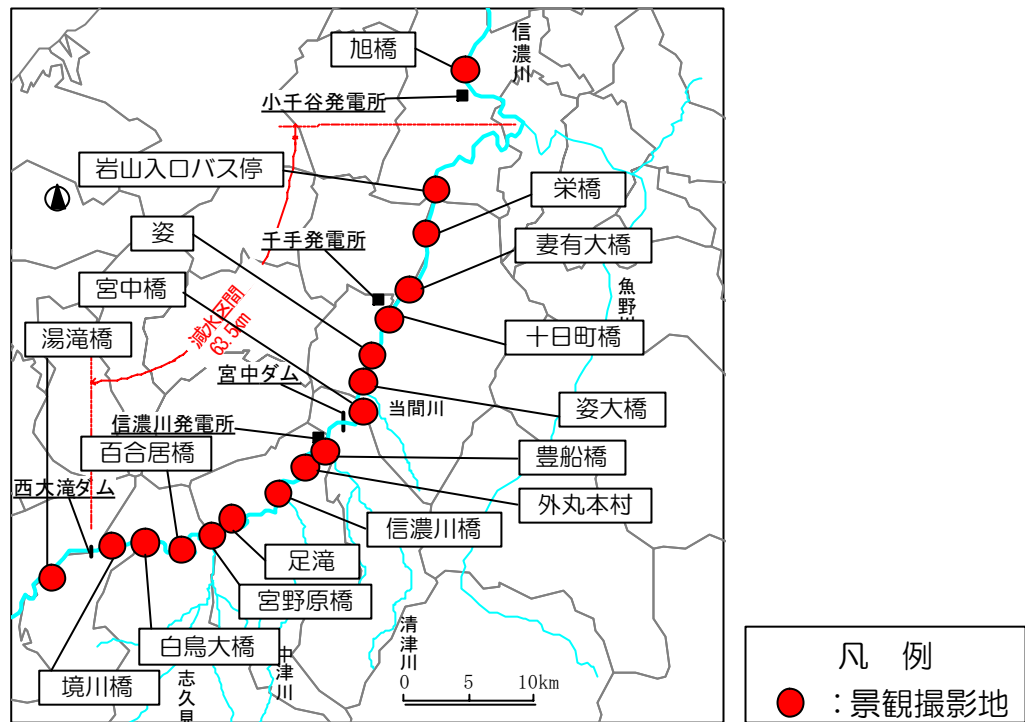


図 4.1-3 景観写真撮影地点

白鳥大橋



試験放流前 西大滝ダム放流量：約  $0.3\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 7 月 13 日

妻有大橋



宮中ダム放流量：約  $7.7\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 7 月 13 日



試験放流後 西大滝ダム放流量：約  $8.2\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 7 月 29 日



宮中ダム放流量：約  $21.7\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 7 月 29 日



試験放流後 西大滝ダム放流量：約  $12.4\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 9 月 28 日



宮中ダム放流量：約  $29.7\text{m}^3/\text{s}$   
平成 13 年 11 月 9 日

図 4.1-4 試験放流による効果

## 4.2 課題改善の検討と結果

現在実施している試験放流により景観に対する効果が見られたが、景観から見た望ましい流量はどの程度なのか。

(今年度の調査で検討することとする。)



西大滝ダム放流量：約  $0.3\text{m}^3/\text{s}$   
平成 11 年 8 月 10 日



西大滝ダム放流量：約  $12.4\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 9 月 24 日



西大滝ダム放流量：約  $20.0\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 10 月 31 日



西大滝ダム放流量：約  $108.9\text{m}^3/\text{s}$   
平成 11 年 6 月 22 日



西大滝ダム放流量：約  $190.2\text{m}^3/\text{s}$   
平成 11 年 8 月 18 日



西大滝ダム放流量：約  $356.7\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 7 月 12 日

図 4.1-5 放流量別の景観（白鳥大橋）



宮中取水ダム放流量：約  $7.2\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 9 月 24 日



宮中ダム放流量：約  $19.6\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 10 月 31 日



宮中ダム放流量：約  $136.4\text{m}^3/\text{s}$   
平成 11 年 8 月 18 日



宮中ダム放流量：約  $450.5\text{m}^3/\text{s}$   
平成 14 年 7 月 12 日

図 4.1-6 放流量別の景観（妻有大橋）